

特集

宮本憲一先生『戦後日本公害史論』出版記念シンポジウム 開催趣旨

○司会 まだ開始時刻までに1分ぐらいあるんですが、今日は残念ながらの雨にもかかわらず、たくさんの方々にお集まりいただき本当にありがとうございます。今日の司会を務めさせていただきます。諸富と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

今日は宮本憲一先生のご本が出版された記念祝賀会を兼ねてシンポジウムを開催したいと考えまして、準備してまいりましたところ、これだけたくさんの方にご参加いただけることになって、本当にうれしく思っております。

すでに『戦後日本公害史論』を読まれた方も多と思いますけれども、まさに日本の公害研究の金字塔とも呼べる著作でありまして、この労作をめぐって皆様と語り合う機会をぜひ設けたいと考えておりました。

東京では実は先週に、同じく『戦後日本公害史論』をめぐって、日本環境会議の主催によるシンポジウムが開催されたと伺っております。比較的若いコメンテーターが登壇して興味深い討論が行われたとお聞きしておりますが、今日こちらでは、研究上の交流も含めて宮本先生と長くお付き合いをされてきた先

生方をパネリストとしてお招きしております。

さて、進め方ですけれども、案内の方にも書かせていただきましたとおり、宮本憲一先生のご講演を最初にとという考え方もあるんですが、むしろ逆転をさせまして、先に宮本先生のこのご本をめぐってパネリストの先生方の評価をお話いただきたいと思ひます。

それぞれ20分ずつでお話をいただきまして、その後、宮本先生にそれを受けて応答を頂くと同時に、本書をご執筆になった経緯、内容、メッセージなどについてお話を頂きたいと思ひます。パネリストの先生方に一巡目のお話を頂いた後で、いったん休憩を入れさせていただきます。その休憩の後に、宮本先生にお話を頂くという形で進めさせていただきます。

このシンポジウムが終わりましたら、会場を別の場所に移しまして、道路を渡って向かいに山内ホールというホールがございます。その建物の2階を会場として、出版記念の祝賀会を開催させていただきますので、こちらの方もふるってご参加下さい。

(開催趣旨終了)